

普段とは違う視点から見た23区、知ればもっと面白い!

クマなくさんぽ



23区の専門図書館

＊食の文化ライブラリー (港区)

このOne23を発行している特別区自治情報・交流センターは、専門図書館と首都大学東京の飯田橋キャンパスで構成されています。特別区自治情報・交流センターの専門図書館には、特別区に関する様々な行政資料や関連する図書等を所蔵しています。

専門図書館とはあまり接点がないという方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、自分たちの生活に密接な関係がある専門図書館で、公益財団法人味の素の文化センターが運営する「食の文化ライブラリー」を訪ねてみました。



味の素グループ高輪研修センター
(食の文化ライブラリーは1F)

●食の文化ライブラリーとは

公益財団法人味の素の文化センターが収集してきた食文化やその周辺分野の書籍、雑誌等を所蔵しており、1989年に開館しました。主に食に関する仕事、研究に携わる人を中心に、1日に20人程度の来館があります。所蔵資料のすべてが食に関するものとなっており、配架にも工夫がされています。また、検索端末も設置しており、目的の資料が探しやすくなっています。



館内の様子

●利用してみよう

実際に館内を回ってみると、書籍や雑誌だけでなく、映像資料等も配架されています。館内を奥へ進むと、明治時代から戦前にかけての貴重書が配架されており、当時の食べ歩き本やレシピ本、雑誌などを見ることが出来ます。なお、貴重書の閲覧にはカウンターで申請が必要です。



昭和初期に発行された食べ歩き本。銀座や神楽坂などエリア別にお店を紹介しています。

また、食品会社の社史など、他の図書館では見ることのできない資料などもあり、就職活動のために調べに来る方もいるそうです。

●利用方法

当館に着いたら、受付で利用者票を記入します。その後、ロッカーにかばんやコート類などを預けたら館内に入ることができます。なお、パソコン等を持ち込みたい場合は、ロッカー横にある透明の手提げ袋に入れて館内へお持ちください。配架されている資料は自由に閲覧することができ、貸出しも行っています。貸出しを利用する場合は、利用カードの登録(手数料100円)が必要になります。



約250年の歴史を持つパリの老舗レストラン“Le Grand Véfour”の総料理長である“Guy Martin”のレシピブック。全636ページ約7kgでフランス語、英語、日本語に対応しています。右側に見えるのは、Christofle社製の「銀の箸:UNI」

食の文化ライブラリー

- 住所: 港区高輪3-13-65
味の素グループ高輪研修センター内
- アクセス: 都営浅草線「高輪台」徒歩3分
JR山手線「品川」「五反田」徒歩15分
- 開館時間: 10:00～17:00
- 休館日: 日・祝日、年末年始、図書整理期間

